

愛知の発明の日

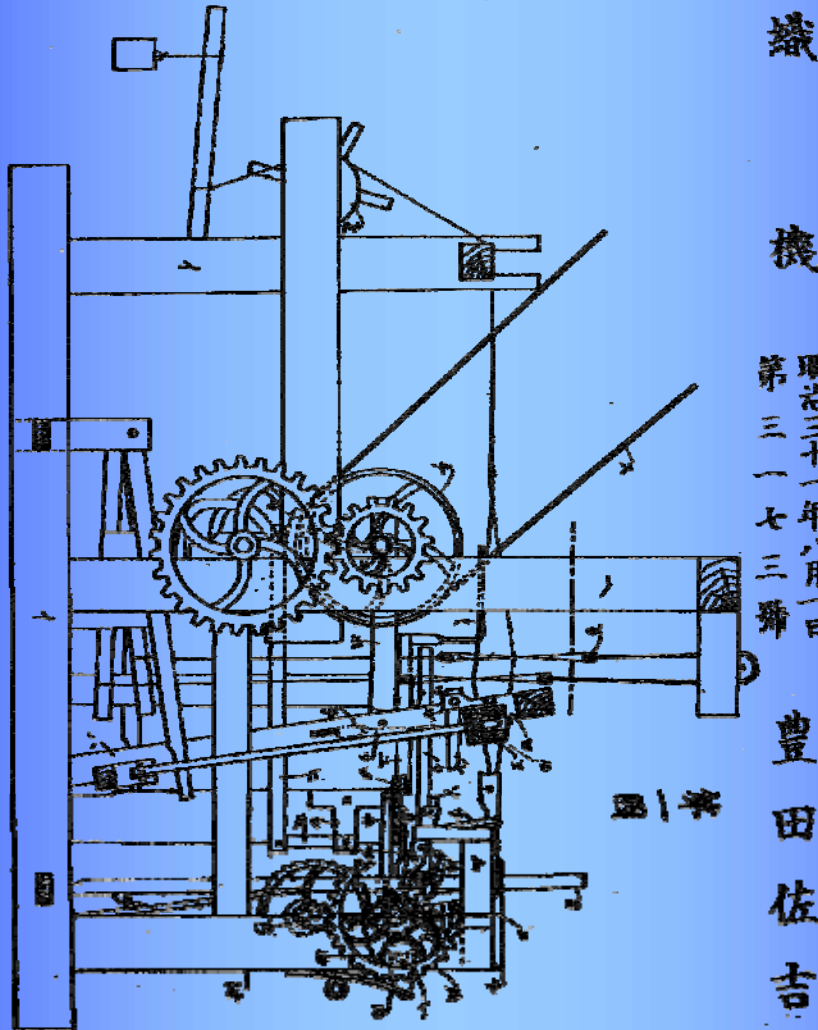
8月1日は
「愛知の発明の日」

自動織機の発明で有名な豊田佐吉翁が最初の動力織機の特許を取得した日が、明治31年8月1日です。愛知県では、この8月1日を「愛知の発明の日」と定め、発明や知的財産について県民の皆様と共に考える日として、その前後を含めて県内各地で様々な関連事業を展開しています。

<http://www.pref.aichi.jp/0000009888.html>

8月1日は「愛知の発明の日」

検索



図は、豊田佐吉翁が明治31年8月1日に取得した動力織機の特許発明明細書の一部です。この特許発明明細書は、「特許電子図書館：IPDL（<http://www.ipdl.inpit.go.jp/homepgipdl>）」でご覧いただくことができます。【検索方法】IPDLトップページ 特許実用新案検索 1. 特許・実用新案公報DB 「文献種別」C「文献番号」3173

記念シンポジウム

参加無料（要申込）：定員200名

企業におけるイノベーションと知的財産戦略
“イノベーションジレンマ”は克服できるのか

7月30日（金）13:00～

トヨタテクノミュージアム
産業技術記念館
名古屋市中区則武新町4丁目1番35号

基調講演

小川 紘一（東京大学知的財産経営総括寄付講座 特任教授）

パネルディスカッション

上條由紀子（金沢工業大学大学院 准教授）・・・モデレータ

小川 紘一（東京大学知的財産経営総括寄付講座 特任教授）

栗原 一雄（富士通株式会社知的財産権戦略本部

知的財産戦略室長兼渉外部長代理）

佐々木剛史（トヨタ自動車株式会社 知的財産部長）

主催 / 愛知県、中部経済産業局、（社）発明協会愛知県支部 後援予定 / 特許庁、名古屋市、日本弁理士会東海支部 協力 / トヨタテクノミュージアム産業技術記念館

問合せ先 / 愛知の発明の日事務局

〒460-8501名古屋市中区三の丸1-2（愛知県新産業課内）

電話 052-954-6350 FAX 052-954-6977

「愛知の発明の日」記念シンポジウム

企業におけるイノベーションと知的財産戦略“イノベーションジレンマ”は克服できるのか

開催日：平成22年7月30日(金)開会13:00(受付12:30～)

主催 / 愛知県、中部経済産業局、(社)発明協会愛知県支部
後援(予定) / 特許庁、名古屋市、日本弁理士会東海支部 協力 / トヨタテクノミュージアム産業技術記念館

プログラム	13:00 開会	▶	13:15 優秀発明者成果発表	▶	13:45 基調講演	▶	15:00 パネルディスカッション	▶	17:00 閉会
-------	-------------	---	--------------------	---	---------------	---	----------------------	---	-------------

優秀発明者成果発表
「可変動弁機構」

13:15～13:45

発明協会が主催する発明表彰における優秀表彰者の取り組みを紹介します。
(平成22年度愛知発明表彰「愛知発明大賞」受賞者)

発表者：小川 和己氏(アイシン精機株式会社 駆動系技術部商用HVシステムグループ TL)

基調講演
「イノベーションと知的財産戦略」(仮題)

13:45～14:45

企業で研究開発に携わった経歴があり、東京大学では知的資産経営の研究に取り組まれるなど技術イノベーション、知的財産戦略に精通され、現在、国の産業政策にも参画されている小川 紘一氏に講演していただきます。

基調講演者：小川 紘一氏(東京大学知的資産経営総括寄付講座 特任教授)

パネルディスカッション
「企業におけるイノベーションと知的財産戦略
～イノベーションジレンマは克服できるのか～」

15:00～17:00

世界市場における競争力を失いつつある我が国の企業が、イノベーションジレンマを克服して、再び競争力を取り戻せるのか。知的財産に関わられている3名の方をパネリストとしてお招きし、議論していただきます。

モデレータ：上條 由紀子氏(金沢工業大学大学院)

パネリスト：小川 紘一氏(東京大学知的資産経営総括寄付講座)、栗原 一雄氏(富士通株式会社)、佐々木 剛史氏(トヨタ自動車株式会社)

基調講演・パネルディスカッション 登壇者



小川 紘一氏

(東京大学知的資産経営
総括寄付講座 特任教授)

上條 由紀子氏

(金沢工業大学大学院 准教授)



栗原 一雄氏

(富士通株式会社知的財産権本部
知的財産戦略室長兼渉外部長代理)

佐々木 剛史氏

(トヨタ自動車株式会社 知的財産部長)

記念シンポジウムの参加には申込が必要です。最終ページの申込方法によりお申し込みください。

会場のご案内

トヨタテクノミュージアム
産業技術記念館

名古屋市西区則武新町4丁目1番35号

http://www.tcm.it.org/

TEL: 052-551-6115

FAX: 052-551-6199

ご来場には、環境に優しい公共交通をご利用ください。

市バス名古屋バスターミナルレモンホーム10番乗り場「名古屋駅」行き(循環)左回り
産業技術記念館下車徒歩3分
市バス「観光ルートバス」メーグルも利用できます。「産業技術記念館」下車(敷地内)すぐ
名鉄「栄生駅」から徒歩3分 地下鉄「亀島駅」2番出口から徒歩10分
JR・近鉄名古屋駅から徒歩20分、タクシー5分

「愛知の発明の日」協賛イベント

「愛知の発明の日」に協賛して7月・8月に以下のイベントが行われます。申込方法等詳細は問い合わせ先に御確認ください。

開催日	行事名(概要)	対象者等	開催場所	問い合わせ先
7/20～8/31 土・日は 休館	農業総合試験場が開発した品種・技術の公開 農業総合試験場で開発した品種や技術をパネルと模型で紹介します。	一般県民 (50名程度)	(長久手町) 農業総合試験場中央 研究棟	農業総合試験場 TEL 0561-62-0085 FAX 0561-63-0815 http://www.pref.aichi.jp/nososi/
7/22	「研究交流クラブ」第134回定例会 講演「医療・福祉分野における生体工学の役割について」と科学技術交流財団共同研究推進事業の成果発表を行います。	研究交流クラブ会 員・一般 (100名程度)	(名古屋市中区) 名古屋銀行協会	科学技術交流財団研究交流課 TEL 052-485-7370 FAX 052-485-7380 http://www.astf.or.jp
7/25・8/22・ 8/28	工学体験授業 ロボットの制御理論や発光ダイオードなど、我々の社会生活の向上・発展に通じる研究や技術の一端を紹介します。	高校生・大学入試 受験生 (200名程度)	(豊田市) 豊田工業大学	豊田工業大学 入学試験事務局 TEL 0120-3749-72 FAX 052-809-1741 http://www.toyota-ti.ac.jp/juken/open/index.html
7/28	第2回企業ニーズ発表会 企業ニーズを直接、大学等の研究者・コーディネータへ発信し、大学等の「知」を活用して、企業ニーズの課題解決等のきっかけとなることを目指します。	大学等の研究者・ コーディネータ・企 業(60名程度)	(名古屋市中区) JSTイノベーションプ ラザ東海	JSTイノベーションプラザ東海 TEL 052-829-3171 FAX 052-829-3172 http://www.tokai-jst-plaza.jp/index.html
7/29～8/12	夏休み特別イベント「地球ラボ」 生物多様性をテーマにお子様から大人の方まで楽しめるイベントを開催します。	どなたでも (約45,000名)	(名古屋市中区) でんきの科学館	でんきの科学館 TEL 052-201-1026 FAX 052-220-1280 http://www.chuden.co.jp/e-museum/
7/31	みんなの科学教室 地域の方に、産業技術研究所への理解を深めてもらうため、業務の紹介、たのしい工作・おもしろ体験等を実施します。	一般県民(小学3年 生以下は保護者同 伴、400名)	(刈谷市) 産業技術研究所	産業技術研究所企画連携部 TEL 0566-24-1841(231) FAX 0566-22-8033 http://www.aichi-inst.jp/
8/1	初期のガソリン自動車「ベンツ パテント モーデルグァーゲン(1886・ドイツ)」の走行披露 初期のガソリン自動車の走行を披露します。実際に走っている姿や音、臭いを感じ取っていただくことができます。	一般(300名)	(長久手町) トヨタ博物館	トヨタ博物館 TEL 0561-63-5151 FAX 0561-63-5159 http://www.toyota.co.jp/Museum/index-j.html
8/1	ぼっぴ&びびのエコエネホーム クールサマーホームパーティー エコバッグづくり、エコパントマイム、エコッキングや実験ショー等、親子で楽しく環境やエネルギーについて学べるイベントを行います。	小学生親子 (約1,800名)	(東海市) ガスエネルギー館	東邦ガス ガスエネルギー館 TEL 052-603-2527 FAX 052-689-1629 http://www.tohogas.co.jp/gas-enekan
8/2～8/4	ものづくりに挑戦！(未来への体験) 大学の施設を使用して、日頃体験できない「ものづくり」の喜びや実験の楽しさを体験します(10テーマ)。	中学生 (各テーマ約10名)	(名古屋市中区) 名古屋工業大学	名古屋工業大学 技術グループ TEL 052-735-7582 FAX 052-735-7582 http://www.tech.nitech.ac.jp/external/monodukuri2009/
8/3	親子でミサンガ作り体験 地域の方に地場産業である繊維製造業への関心を深めてもらうため、自分だけのオリジナルのミサンガ作りを体験します。	小学生と保護者 (10組20名)	(蒲郡市) 産業技術研究所三河 繊維技術センター	産業技術研究所 三河繊維技術センター TEL 0533-59-7146 FAX 0533-59-7176 http://www.aichi-inst.jp/mikawa/
8/3	小学生向け科学教室 サンドブラスターを使ったガラスコップへの絵付け及び焼き物への絵付け体験学習を行います。	地元指定小学校の 児童と保護者 (15組30名)	(常滑市) 産業技術研究所常滑窯 業技術センター	産業技術研究所 常滑窯業技術センター TEL 0569-35-5151 FAX 0569-34-8196 http://www.aichi-inst.jp/tokoname/
8/3	「食品を科学する～食品添加物(着色料)を調べてみよう～」 食品の嗜好性を決める重要な要素の一つである「色」に着目して、食品に使用されている着色料を抽出・分析します。	高校生以上 (10名程度)	(名古屋市中区) 産業技術研究所食品工 業技術センター	産業技術研究所 食品工業技術センター TEL 052-521-9316 FAX 052-532-5791 http://www.aichi-inst.jp/afri/shokuhin/
8/4	ファミリー創作！?布教室 尾張繊維技術センターやFDCの見学と体験教室(ミサンガを織る・布と針を使っておかしを作る)を行います。	小学生とその保護 者(各コース15組 30名)	(一宮市) 尾張繊維技術センター、 一宮地場産業FDC	一宮地場産業ファッションデザインセンター(FDC) TEL 0586-46-1361 FAX 0586-44-7455 http://www.fdc138.com/
8/5	「光るセラミックスでアクセサリや小物を作ろう」 蓄光顔料の発光の仕組みを学び、蓄光粘土を使用してアクセサリートップやバッジなどの小物を作成します。	近隣中学校の生徒 (約20名)	(瀬戸市) 産業技術研究所瀬戸 窯業技術センター	産業技術研究所 瀬戸窯業技術センター TEL 0561-21-2117 FAX 0561-21-2128 http://www.aichi-inst.jp/seto/
8/7	愛知県水産試験場公開デー 試験研究の紹介、研究施設の見学	一般(600名)	(蒲郡市) 愛知県水産試験場	愛知県水産試験場 TEL 0533-68-5198 FAX 0533-67-2664 http://www.pref.aichi.jp/suisanshiken/
8/7	なごや・サイエンス・ひろば なごやサイエンスパークでの研究紹介や科学工作教室、サイエンスショー・工作実演・クイズ&スタンプラリーなどを行います。	一般市民(主に小 学生) (3,000名程度)	(名古屋市中区) なごやサイエンスパ ーク内	名古屋都市産業振興公社 研究推進課 TEL 052-736-5680 FAX 052-736-5685 http://www.u-net.city.nagoya.jp/
8/29	小学生向け体験学習教室 大学教員による小学生向け体験学習教室 内容(予定)スライム作り、プログラミング体験、理科実験他	小学生 (400名程度)	(豊橋市) 豊橋技術科学大学	豊橋技術科学大学 TEL 0532-44-6506 FAX 0532-44-6509 http://www.tut.ac.jp/

トヨタテクノミュージアム産業技術記念館の紹介

産業技術記念館は豊田佐吉が1911年に自動織機開発のための実験工場を開設した場所です。その工場が旧豊田紡織(株)本社工場となり、さらには、トヨタ自動車工業(株)の設立総会が開催されるなど、トヨタグループ発祥の地として1994年にグループ各社により整備され、当時の建物を活用した博物館として、繊維・自動車を中心とした動態展示が行われており、「モノづくり」の大切さを、広く社会に伝えることを基本理念として活動している文化施設です。

また、子どもが「モノづくり」に興味を抱くような展示や体験ができるテクノランドも併設しておりますので、ご来場の際には是非、ご観覧ください。

入館料(一般)

大人 500円 中高生 300円 小学生 200円 65歳以上の方は無料

(証明できるもの(健康保険証・運転免許証など)を総合案内にご提示下さい。)

夏休み期間中(7/21(水)～8/31(火))は小・中学生の入館料は無料



「愛知の発明の日」記念シンポジウムへの参加方法

1. インターネットの場合

「愛知の発明の日」のWEBページにアクセス後、指示に従いお申込ください。

URL <http://www.pref.aichi.jp/000009888.html>

8月1日は「愛知の発明の日」 検索 

2. FAXの場合

下記申し込み用紙に必要事項を記入の上、本ページをそのままFAX送信してください。

FAX **052-954-6977**

3. 郵送の場合

下記申し込み用紙に必要事項を記入の上、切り取って下記に郵送してください。

宛先 〒460-8501 愛知県新産業課内 愛知の発明の日事務局
(住所記入不要)

参加無料
定員200名

7月26日(月)必着

(先着順の受付になります。定員に達し次第受付を終了します。)

受け付け終了後に登録番号を返信します。
フォーラム当日に受付にお持ちください。

お申し込み用紙

お名前	ふりがな		
ご勤務先			
ご連絡先	住所 〒		
	TEL() -	FAX() -	e-mail @
このチラシの入手方法 :			
県からの知的財産等に関する情報提供	希望する(ご連絡先e-mailを必ず記入してください。)	希望しない	

記入していただいた個人情報は適正に管理し、「愛知の発明の日」記念シンポジウムの参加受付、県からの情報提供(希望者のみ)の目的のみに利用し、他の用途には使用いたしません。

お知らせ・・・知的財産尊重宣言への賛同者を募集しています。

知的財産の創造・保護・活用による地域づくりに向けては、知的財産を大切に作る風土づくりが非常に重要になります。そこで、愛知県では、県民一人ひとりが、知的財産を大切に作る気持ちを持ってもらうため、知的財産尊重宣言をとりまとめ、広く企業・団体・個人等に宣言への賛同をお願いしております。賛同をして頂ける場合は、WEBページ(<http://www.pref.aichi.jp/000009522.html>)から、もしくは、発明の日記念フォーラムにFAXもしくは郵送でお申込される方は下記に記入をして、宣言への登録をお願いします。賛同者はWEBページで紹介をさせていただいております。(希望による)

宣言者 企業・団体・個人名 (県内支店・支部等の単位でも可)	私(たち)は、「あいち知的財産尊重宣言」の趣旨に賛同し、宣言者の一員となって取組を推進します。	知的財産尊重宣言(要約) 私たちは、知的財産の積極的な創造・保護・活用を図り、地域をあげて知的財産を大切に作る風土づくりに取り組んでまいります。 1. 知的財産とそれを生み出す技術・技能・知恵を大切に、主体的に次の取り組みを実施します。 (1) 大学の取り組み : 知的財産の創造、権利化・活用を通じて社会貢献をめざし、知的財産を創造、尊重する人材の育成に中心的役割を果たします (2) 企業の取り組み : 知的財産の創造・保護・活用に努め、経営戦略に生かし、知的財産を尊重した経済活動を行います (3) 行政の取り組み : 情報発信機能の整備・充実に努め、自らの知的財産の創造と有効活用を図るとともに、知的財産を大切に作る風土づくりを推進します (4) 関係団体の取り組み : 知的財産を大切に作る風土づくりに向け、産・学・行政と協働して貢献してまいります (5) 県民の取り組み : 一人ひとりが創意工夫に気を配るとともに、真正なモノやサービスの購入を通して、知的財産を大切に作る風土づくりに貢献します 2. 8月を青少年が発明に親しみ、創造意欲やチャレンジ精神を育む推進月間とします。
所在地(住所)	〒	
宣言者名公表	公表可 ・ 公表不可	
備考	(知的財産に関するこれまでの取組、今後の計画など、自由にお書きください。)	

・宣言の全文、既に賛同していただいている方等については、<http://www.pref.aichi.jp/000009522.html>からご覧頂けます。
 ・公表可(可否いづれにも記入のない場合を含む)の場合は、愛知県のホームページ等で宣言者名を公表させていただきます。
 ・連絡先は、愛知の発明の日記念イベントお申し込み書に記載の連絡先を登録させていただきます。



生物多様性条約第10回締約国会議(COP10)
開催時期: 2010年10月11日(月)~29日(金)



あいちトリエンナーレ2010
テーマ: 都市の祝祭 Arts and Cities
開催時期: 2010年8月21日(土)~10月31日(日)